

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2017 開催結果

○日時：2017年12月5日(火) 13:00～17:00
 ○場所：興福寺会館(奈良市)
 ○来場者数：106名(交流会40名、アンケート回収数63)
 ○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
 ○共催：(公社)関西経済連合会、(国研)情報通信研究機構、総務省近畿総合通信局、(公財)関西文化学術研究都市推進機構
 ○協力：法相宗大本山興福寺
 ○概要：文化庁の京都への一部移転もひかえ、文化財が集積している関西の地において、文化財とICTとの関わりや、文化財の保存と活用にICTがどのように寄与できるかなどについて議論する機会をもうけるという趣旨で、興福寺様のご協力を得て開催しました。文化財の研究や保存のために活用されるICTについて、最前線で活躍されている方より講演をいただきました。再建中の興福寺中金堂特別見学会も開催し、中金堂の屋根を足場から間近に見ることができ、文化財を守り伝えていく意気込みを感じました。来場者からは、文化遺産の保存や活用にICTが使われているのを大変興味深く感じた、もっとICTが役立てるよう研究開発を進めるべき、などの感想をいただきました。

○プログラム「興福寺中金堂再建記念ー文化財×ICTー」
 ◆開会挨拶 九津見 洋氏(当協議会理事、運営・研究部会長)
 ◆講演「天平の文化空間の再構成」
 多川 俊映氏(法相宗大本山興福寺貫首)
 ◆講演「X線CTを使った文化財の健康診断」
 今津 節生氏(奈良大学文学部文化財学科教授)
 ◆2018年落慶の中金堂特別見学
 (解説) 國樹 彰氏(株式会社瀧川寺社建築副社長)
 ◆講演「電磁波を用いた文化財の調査と展示への活用」
 福永 香氏(国立研究開発法人情報通信研究機構
 電磁波研究所電磁波応用総合研究室長)
 ◆講演「木簡データベース構築の歩み」
 ー木簡くずし字解読システムMOJIZO
 渡辺 晃宏氏(独立行政法人国立文化財機構
 奈良文化財研究所副所長)
 ◆閉会挨拶 小野寺 昭彦氏(総務省近畿総合通信局 情報通信部長)
 ◆交流会



九津見 洋氏 多川 俊映氏 今津 節生氏 福永 香氏 渡辺 晃宏氏 小野寺 昭彦氏



講演会場の様子



見学会の様子

交流会の様子

